

持続可能な開発目標（SDGs）の国ごとの進捗を示す「インデックス&ダッシュボード」という指標があります。2030年に向けたSDGsの17ゴールに対する取り組み状況を評価し色づけして示した、いわば国ごとの成績表です。途上国と呼ばれる国々を見ると、飢餓や健康、環境など多くの分野のゴールが赤やオレンジ（進捗状況がよくない）で示され、なるほどそうなのだろうな、という印象を受けます。対して、先進国である日本は、緑色（進捗している）ばかりかと思いきや、実は赤いゴールも目立ち、日本人として少しがっかりするかもしれません。日本のスコアは156か国中15位（2018年）。教育や経済・雇用等において高い評価がつく一方で、ジェンダーや生産・消費形態、気候変動等の取り組みが課題となっています。

中でもジェンダーは、「日本が遅れている」最たる分野だと言えます。男女間の格差を測るジェンダーギャップ指数は149か国中110位、主要7カ国（G7）では最下位で（2018年）、たとえば国会議員や企業管理職における女性比率の低さはよく耳にするところです。男女間の収入格差しかり、昨年の医科大入試での女子差別問題しかり、「#MeToo」運動以来さらに世間を騒がせている性ハラスメントやドメスティック・バイオレンスしかり……女性をめぐる残念なニュースは後を絶ちません。

途上国には、そんな日本よりもさらに苦境に置かれている女性たちがたくさんいます。今号の制作にあたっては、同性である私でも想像を絶するような過酷な状況の話も聞きました。遅れている日本が、それでもこの分野で他国に協力する意義とはなんでしょう。自分が抱える課題点をも相手に伝えながら、おたがいに学び合い改善を目指すことは、JICAの協力の特徴です。途上国の女性が幸せになる、そして日本のインデックスも「緑色」になる、そんなウィーン・ウィーンがいつかきこえたらなう——3月8日の国際女性デーを前にそう信じます。

広報室広報課 原三佳

《アンケートのお願い》

プレゼント付き

JICAや記事内容についてのご意見、ご感想をお待ちしております。また、こんな企画を実施してほしいなどのご希望もぜひお寄せください。お寄せくださった方の中から、抽選でプレゼントを差し上げます。下記項目をお書き添えのうえ、巻末のアンケートはがき、Eメール、またはファクスでお送りください。

- 氏名 ●住所 ●電話番号 ●年齢 ●性別 ●職業
- 本誌を入手した場所 ●面白かった記事 ●本誌へのご意見・ご感想
- JICAへのご意見・ご質問 ●ご希望のプレゼント番号

*お寄せくださったご意見・ご感想は、本誌やJICAのウェブサイトに掲載する場合があります。あらかじめご了承ください。ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送および誌面の向上に役立てること以外での目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◎応募締め切り 2019年4月15日

[2019年3月号のプレゼント]



- ① 書籍
『小さなバン屋が社会を変える 世界にははたたくバンの伝説』
菅聖子 著、ウェッジ
1名様



- ② ティンガティンガ・アートのウェルカムボード
"Karibu" は「ようこそ」を意味するスワヒリ語。高橋尚子さんのタンザニア訪問時にスタッフが選びました!
15×30cm 1名様



- ③ 「なんとかしなきゃ!プロジェクト」オリジナルTシャツ
2名様

mundi

MARCH 2019 No. 66
編集・発行: 独立行政法人 国際協力機構
Japan International Cooperation Agency (JICA)
〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25
二番町センタービル
TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396
URL: <http://www.jica.go.jp/>

制作協力: 株式会社 木楽舎
〒104-0044 東京都中央区明石町11-15
ミキジ明石町ビル6F 『mundi』編集部
TEL: 03-3524-9572 FAX: 03-3524-9675
Eメール: ML_JICAPR@jica.go.jp

- アンケートの送付、定期送本、バックナンバーの取り寄せに関するお問い合わせは木楽舎までお寄せください。
- 本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。



定期送本のご案内

●申込方法

巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送本期間・送付開始月号を明記の上、所定の金額（送料+手数料）を郵便局でお支払いください。入金確認後、発送の手配をいたします。入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください。

*複数冊、またはバックナンバーをご希望の場合は送料が異なりますので『mundi』編集部（木楽舎）までお問い合わせください。

次号予告 (2019年4月1日発行予定)

4月号 特集 日本式の協力—生活編

日本らしい技術や知見が生かされているからこそ成果を発揮している。国際協力の現場をクローズアップ。相手国の状況に合わせてカスタマイズし実施する、そうした支援の数々を、身近な生活に直結する「生活編」（4月号）と、インフラなど国造りに関わる「国造り編」（5月号）の2号にわたって紹介します。

●本誌2019年2月号6～7ページ「アフリカの今を知る」の記事で、「人が集まり、資金も集まる」に「⑩ザンビア」とあるのは、「⑨ジンバブエ」の誤りでした。また、34～35ページ「教えて! 外務省」の記事で、「答えてくれた人」の略歴に「1995年」とあるのは、「1993年」の誤りでした。ここに訂正し、読者と関係者の皆さまにお詫びします。



『mundi』バックナンバーはJICAのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jica.go.jp/publication/mundi>